



従業員とともに

企業が持続的な成長を遂げていくうえで、その原動力となるのが「人材」です。日本国内における労働人口の減少などを背景に“働き方改革”への社会的関心が高まるなか、マルハニチログループは、従業員一人ひとりが生き生きと働ける職場環境づくりに努めています。

「企業は何よりも人にある」という社訓のもと、従業員と会社とともに成長していくために、意欲あふれる人材の成長機会の創出に積極的に取り組んでいます。



IN FOCUS

「ダイバーシティ推進室」を新設したほか「グローバル人材」の育成に注力。

マルハニチロでは、企業を取り巻く社会情勢や労働環境の大きな変化に対応するために、従業員一人ひとりが業務上の目標達成に意欲を持ち、自らの仕事の質を高めていくことができる人材の育成と職場環境づくりに取り組んでいます。

2017年度には、女性や高齢者、障がい者などの多様な人材が活躍できる職場環境づくりや、働き方改革を通じたワークライフバランスの確保などを推進する専門部署として「ダイバーシティ推進室」を新設しました。

また、マルハニチロでは中期4か年経営計画において「グローバル領域での収益拡大」という基本方針を掲げており、その推進力となるグローバル人材の計画的な確保・育成にも

取り組んでいます。語学力のみならず「幅広い見識とバランス感覚」「異文化適応力」「マネジメント力、リーダーシップ力、ネゴシエーション力、プレゼンテーション力」「メンタル力」「人事労務知識、財務経理知識、地域専門知識」といった基準を満たす総合職社員を「グローバル人材」として位置付け、教育訓練を継続的に実施しています。そのなかでも、特に海外ビジネスへの意識・関心が高く、海外においてもグループ理念の実現に貢献できる人物を、「グローバルリーダー」として育成しています。



VOICE

北米現地法人で学んだ知見を日々の業務に活かしています。

2014年4月からの1年間、「海外トレーニー制度」を利用して、北米現地法人に研修生として赴任しました。北米では、シアトルとベリンハムにある4つの現地法人を3か月単位で回り、経理業務を中心に各社のファイナンス、総務、人事、生産、物流などの業務研修を体験。研修を通じて、資源アクセスから製品の生産、販売までの事業の全体像を掴むとともに、北米事業のスケールの大きさを学ぶ良い機会となりました。帰国後、北米事業一部に配属された私は、本社と現地法人をつなぐ窓口対応業務を担当。北米現地法人で学んだ知見を、日々の業務に活かしています。

マルハニチロ(株) 北米事業一部 管理課 窪田 将人



VOICE

海外展開の強化を図るマルハニチロのちからになりたい。

「グローバル人材育成プログラム」に参加し始めて、今年で5年目になります。これまでにさまざまな研修を受講してきましたが、特に印象に残っているのは「海外トレーニー制度」を利用してタイの現地法人で研修生として働いたことです。現地で、水産物や畜産物、冷凍食品などさまざまな商材の製造現場に触れながら、海外でのビジネスを学ぶことができました。また、社内外の多くの人々との繋がりを築くことができたことは私の大きな財産です。今後は、このプログラムで学んだことを活かし、海外展開の強化を図るマルハニチロのちからになりたいと考えています。

マルハニチロ(株) 食肉事業部 加工品課 井口 沙央里

